

## 平成24年度第4回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成24年11月15日（木）午後2時～3時50分

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室

### 3 出席者

#### （委員）

舟田委員長、杉山副委員長、米山委員、佐藤委員、松木委員、松浦委員、土井委員、山崎委員、布施谷委員、工藤委員

#### （事務局）

生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、生涯学習課主幹、郷土博物館長、青少年センター所長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習係

### 4 議題

#### （1）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（1件）

#### （2）報告事項

- 1）平成24年度浦安市成人式の開催について
- 2）うらやす文化市場の開催について
- 3）平成24年度第15回市民手工芸展の開催について
- 4）平成24年度生涯学習講演会の開催について
- 5）浦安スポーツフェア2012実施報告について
- 6）各公民館文化祭開催報告について

#### （3）その他

- 1）54回全国社会教育研究大会山梨大会参加報告
- 2）浦安市生涯学習推進計画策定について
- 3）次回会議日程について

### 5 議事概要及び会議経過

#### （1）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（1件）

はじめに、前回申請を留保とした「浦安南MBC」について、生涯学習課長より説明した。

（事務局）前回の会議後、団体の方とお会いして、お話を伺うとともに、活動の状況等を確認したところ、団体側から、会員の募集が広くできていないこと、学校クラブ活動との区別が明確でないことを理由として、申請を辞退する旨の申し出があったので、報告する。今後、事務局においても、事前に十分精査をして参りたい。

続いて、今回認定申請のあった「高洲フォトクラブ」の概要を説明し、認定を承認することとした。

委員からの主な質問および意見は、次のとおり。

（委員）24年度の予算で、収入と支出がだいぶ違う。予算なので、少なくとも収入と支出は同じになるのではないか。

- (事務局) 団体が作成した予算は収支が合っている。会議資料の方が合っていないのは、事務局のミスである。繰越金が大きくなっていることについては、今後、活動を広げていきたいと聞いている。
- (委員) 講師謝礼が2万円と基準を超えているが、指導しているのか。
- (事務局) 年2回のみでの指導に対する謝礼ということで、適切な範囲と思う。
- (事務局) おそらく1日かけた撮影会を行っているものと思う。講師の方を丸1日拘束するというのであれば、それほど不適切な金額ではないと思う。後ほど確認したい。
- (委員) 23年度活動実績報告が24年度2月までとなっているが、何か理由があるのか。
- (事務局) 2月までにすべての事業が完了したものと思うが、併せて確認したい。
- (委員) 役員に監事が入っていないのはなぜか。
- (事務局) そちらについても確認する。
- (委員) 24年度予算を見ると、撮影会と講評会参加費で35,000円、講師謝礼75,000円となっている。こうした大きな金額が出るようなものはきちんと項目立てをして、収入と支出を合わせて作るというような指導が必要と思う。こういうものを作るのに慣れていないので、そういうところは指導した方がよい。
- (事務局) 今までいただいたご意見について、指導していきたい。
- (委員) こうした写真クラブの団体はどれくらいあるか。
- (事務局) 他に3団体ある。
- (委員長) 高洲公民館での活動状況はどうか。
- (事務局) 公民館文化祭で記録写真を撮るなど、協力的な団体である。
- (委員長) 活動としては大変良いと思う。委員からの意見を事務局で指導するという事で承認してよろしいか。
- (委員) はい。

## (2) 報告事項

- 1) 平成24年度浦安市成人式の開催について  
生涯学習課長より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。
- (委員) 受付をした後に、式典に出ないで遊びに行く人はいないのか。
- (事務局) 受付をした全員が式典に参加している。
- (委員) 30分は短いようにも思うが、来賓の挨拶の他に、成人の先輩として市内の有名人が経験談を語るような内容は無いのか。
- (事務局) そういった時間は設けていない。実行委員会議の中で、前年度の実行委員の話の聞くという事は行っている。
- (事務局) 市長・議長の祝辞が、社会人としての自覚を促すような内容なので、聞いている方にはよく伝わっていると思う。そういったことも重要とは思いますが、挨拶ばかり何人もするというのは、この場面ではどうかと思う。
- (委員) 身近な先輩から経験談として聞いた方が、心に残るような話になるのではないか。役所側の挨拶は、聞いていて退屈だと思う。
- (事務局) 実行委員は自分たちなりに考えて、毎年いろいろな工夫を重ねてきている。プログラムに恩師の先生からの言葉を載せるなどもしている。

- (委員長) 子どもたちにとって思い出になるような式にしてほしい。
- 2) うらやす文化市場の開催について  
生涯学習課主幹より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。  
(委員長) 伝統芸能というのは、どのような団体か。  
(事務局) 「浦安お洒落保存会」の他、茶道の団体と日本舞踊の団体、計3団体が参加している。
- 3) 平成24年度第15回市民手工芸展の開催について  
生涯学習課主幹より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。  
(委員長) うらやす文化市場にも手工芸があるが、体験か何かをやるのか。  
(事務局) 手工芸の体験として考えている。  
(委員長) 午後5時までなのは、市民プラザが閉館してしまうからか。  
(事務局) 市民プラザは9時まで開いているが、5時を過ぎると見に来る方がほとんどいなくなってしまうので、5時までとしている。
- 4) 平成24年度生涯学習講演会の開催について  
生涯学習課長より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。  
(委員) 有料にする理由は何か。  
(事務局) 著名な先生ということで、参加者が多だろうということと、費用もかかっているなので、ある程度は受益者負担としている。  
(委員) こういう講演会は今までも有料で行ってきているのか。  
(事務局) 市民演奏会のような実行委員会形式の場合は、入場料を取っている。  
(委員) この講演会は、毎年やっているものか。  
(事務局) 今回が初めてである。  
(事務局) 以前、生涯学習系の講演会をずっと無料でやっていたが、今回は市民側からこういった方を呼んでいただけないかという要望があったことで、市民の方にも一部費用を負担していただくということで有料とした。  
(委員) 1,000円くらい取ってもよいと思う。500円だと逆に安っぽく感じられてしまうこともある。  
(事務局) 500円程度の入場料を取るくらいなら、無料の方が先生の威厳を守るという意味でもよいのではないかという意見も分かるが、今回は500円でやらせていただくということで了解を得ているので、心配はないと思う。  
(委員) 今後も継続していく事業なのか。  
(事務局) 生涯学習フォーラムとして実施していく予定である。こういった講演会になるか、フォーラムになるかは今後詰めていきたい。
- 5) 浦安スポーツフェア2012実施報告について  
市民スポーツ課長より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。  
(委員長) 「入船中日の出中おやじクラブ」とあるのは、PTAか。  
(事務局) PTAの組織の中の一部ということかと思う。  
(委員) PTAとは別組織ではないか。  
(委員) 別でやっているところの方が多いが、一部としてやっているところもある。

- (委員) 赤ちゃんダービーとは、どのようなものか。  
(事務局) 1歳から3歳まで6カ月ごとに年齢の区分を設け、スピードを争う競技になっている。  
(委員長) どのくらいの距離か。  
(事務局) 20メートル程度である。  
(委員長) あいにくの天気だった。晴れていたらもっと来るのではないか。  
(事務局) 震災前であれば、25,000人くらいの来場者があった。
- 6) 各公民館文化祭開催報告について  
各公民館長より報告した。  
委員からの主な質問および意見は、次のとおり。  
(委員長) 中央公民館の「おさがり会」は、どのようにやるのか。  
(事務局) 事前に預かったものをサイズ別に分けて並べ、好きなものを持って行っていただく。  
(委員長) 「浦安中学校あいさつ運動PR」は、どのようなものか。  
(事務局) 学校内や自治会等で取り組んでいるもので、旗を持って挨拶をしながら、運動のPRをするものである。  
(委員) 美浜公民館の「パトカーに乗ってみよう！」というのは、警察の協力か。  
(事務局) 毎年大人気で、行列ができる。浦安警察署員の方々は親切な対応をしていただいている。子どもが制服を着て写真を撮ることもできるので、とても喜んでもらえる。  
(委員) 中央公民館は第二消防団が傍にあるので、消防車を公民館の前に置いてもらって体験させてはどうか。  
(事務局) 検討したい。  
(委員長) 各館の館長の大変なご苦勞があったものと思う。多くの方の参加をいただいて、成果が上がっているように感じた。公民館は地域の避難所にもなる場所なので、なるべく多くの方に来て見ていただくことが必要と思う。学校関係の協力もあったということで、校長会にもお礼を申し上げたい。

### (3) その他

- 1) 第54回全国社会教育研究大会参加報告について  
大会に参加した舟田委員長、杉山副委員長より報告した。  
(委員長) 全国大会と関東大会が合同で開催され、1000人以上の参加があった。最初に、全国社会教育委員連合の大橋謙策会長が、これからの社会教育の方向を話されたのでご紹介する。  
これからの社会教育はどうあるべきかということで、一つは地域づくりに深く関わる社会教育行政の振興が重要ということ。第二は、たまり場機能を持つ公民館の整備。指定管理者制度で民間に任せるのではなく、社会教育主事を置くこと。第三は、学校外の教育活動に、社会教育がもっと力を果たすべきということ。第四は、学校運営委員会を義務設置化して、住民参画を求める必要がある。住民が学校運営に関わる方向に将来なるだろうということで、各市町村の地域教育振興計画の中にそういうことを盛り込んでほしい、というようなことを話された。  
非常に大事なことを話されたと思う。全体会のシンポジウムでは、公の仕事の隙間を埋めるようなところに、NPO等の組織

の活動を支援するものも報告された。

例えば、余った食べ物を有効活用して、配布する活動である。社会教育が幅広い活動になってきている。

2日目は、第2分科会に参加した。青年層の閉じこもりの人に対して、行政の手が届かない隙間を埋めるために、NPOが大学生などの若い人を派遣して、長期にわたって支援していくという佐賀市の活動の発表があった。今までの社会教育と違った活動が出てきていると感じた。

(副委員長) 第4分科会では「地域の絆づくりにおける社会教育委員の役割」について、川崎市と上越市の事例報告があった。川崎市における子育て世代への支援については、川崎市には20人の社会教育委員がおり、定例会を毎月開催している。また、教育委員との懇談会で意見交換もしている。話としては、子育て支援・高齢者問題・就学前の子どもたちとその親が居やすい場所をどこにしたらよいかという話だった。浦安では社会福祉協議会で行っていることをやっているように感じた。

上越市の事例では、14の市町村が合併して、145人いた社会教育委員が20人になってしまった。新しい委員が半数を占め、何も分からないうちに新潟県社会教育研究大会で発表することになり、パフォーマンスで発表をした様子が報告された。

## 2) 生涯学習推進計画について

生涯学習課長より、進捗状況について報告した。

(事務局) 現在、素案作りを進めている。次回の会議でご提示したいと思っているので、その間に新たなご提案やご意見があれば参考にさせていただきたい。

## 3) 次回会議日程について

次回の会議は、平成25年2月21日(木)午後3時から中央図書館視聴覚室で開催する。

以 上